

岐阜県の プラスチック

新規事業・社会要請対応円滑化支援事業がスタート

「資源循環型産業へのシステム作り」

1級受検者は過去最高・射出成形の技能検定実施

JR岐阜駅西にワールドデザインシティが誕生

企業戦略の道標として欠かせぬ「特許情報の活用を…」

組合役員会社の暑中お見舞い広告特集

事務局だより

製品技術研究所にある検定会場で行われた技能検定実技試験



社会要請対応円滑化支援事業を開始

樹脂別回収で再資源化を図る 資源循環型産業へシステム作り

岐阜県プラスチック工業組合は、ゼロミッション社会（資源循環型社会）の到来に備えて『社会要請対応円滑化支援事業』に取り組み開始した。この事業は5月総会で承認された平成12年度の新規特別事業で、このほど補助金交付の内定を得たことから7月19日午後、岐阜産業会館会議室で役員会を開き、事業の実施内容について協議した。

事業内容は、支援事業を機会に企業ぐるみで工場廃棄物の削減や適切管理に取り組み、さらに業界ぐるみで「樹脂別分別回収と再資源化を図るシステム」を構築する。これを実現・運用すれば原材料樹脂の使用削減や廃棄物処理費用の削減など、コスト改善につながり、ひいては業界のイメージアップ、社会環境の改善に貢献することになる。

新規の組合助成事業

「社会要請対応円滑化支援事業」は、中小企業庁が全国中小企業団体中央会を通じて、全国の中小企業団体（初年度は全国で32団体、岐阜では2団体）を対象に行なう新規組合助成事業である。

事業の趣旨は、産業廃棄物処理・リサイクルの推進、化学物質の安全管理、地域温暖化対策等の環境安全问题などについて対応策を検討するための助成事業である。当工業組合では補助金交付の内示を得たことから7月7日に補助金交付申請書を提出し、総額526万4,000円の補助金交付決定通知の内示を受け、事業を開始した。

組合がめざす「産廃の樹脂別分別回収と再資源化を図るシステム」は、組合員がプラスチックの成形加工時に排出する工場廃棄物を、樹脂別に分別回収し、組合員である原料再生業者に



社会要請対応円滑化支援事業の実施内容を決めた役員会

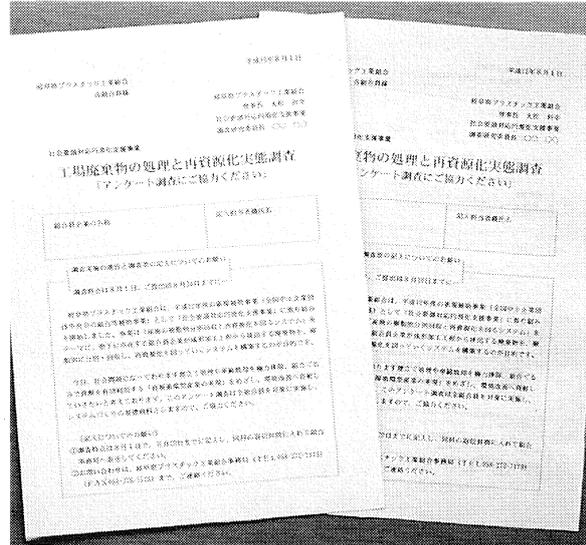
によって再生処理し、再生利用できない廃棄物については、埋め立て処理や単純焼却とせず、極力、固形燃料、高炉原料、熱利用焼却などの有効利用方法を探っていく。

委員長に日比副理事長を選び発足

事業実施に当たっては「社会要請対応円滑化支援事業・調査研究委員会」を組織し、事業を推進していく。委員会は業界側委員18人、専門家委員5人と事務局で構成する。19日に開催し

た役員会では、委員に大松理事長ら役員18人全員が就任することにした。さらに委員長に日比勝次副理事長、副委員長に久世幸博監事と清水昭市理事を互選、委員会を運営、推進してもらうことにした。専門家委員には横田克己プラスチック処理促進協会広報部長、下村康夫日本プラスチック日用品工業組合専務理事、石樽芳直岐阜県製品技術研究所主任専門研究員ら6人を委嘱、必要に応じてアドバイスや資料提供、原稿執筆などに加わってもらう。

事業内容と実施スケジュールは①委員会開催事業（業界側委員会および専門家委員会）②アンケート調査事業③実地調査事業④集計調査及び内容分析作業（集計調査及び内容分析作業は外部委託）⑤調査研究事業（廃棄物処理施設視察調査、廃棄物処理・再資源化展示会視察調査再生処理業者会議開催など、情報収集と対応策の研究）を行った後、2月15日までに報告書を作成して組合員、関係機関・団体への送付、理解と実現への協力を呼びかけていく。



基礎資料となるアンケート調査票

全組合員にアンケート調査を行う

アンケート調査は、8月1日を調査時点に実施を決め、近く調査票を全組合員に発送するところで、協力がもたれる。

調査内容は①事業の現況②工場廃棄物排出の実態③廃棄物の処理方法④経営環境と課題⑤組合に対する意見ーの5項目、16設問。とくに廃棄物排出の実態の項目では、発生量、形態と

社会要請対応円滑化支援事業実施スケジュール表

事業名\実施月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
調査研究事業	委員会開催	・第1回委員会(19日) ・第1回本委員会(下旬)		・第2回委員会(初旬)	・第2回本委員会(中旬)		・第3回委員会(初旬) ・第3回本委員会(下旬)	・合同委員会(下旬)	
	アンケート調査		・調査票作成と印刷 ・調査票発送 ・同締め切り	・調査票回収					
	実地調査		・実地調査開始	・実地調査	・実地調査	・実地調査完了			
	集計調査分析			・調査票集計	・調査票集計及び分析を外部委託	・調査票集計を完了(月末)	・調査票分析を完了(初旬)		
	視察調査			・高炉原料利用(NKK)	・再生処理業者と意見交換会	・固形燃料製造施設視察(知多) ・環境ビジネス展視察	・ウエステック(幕張) ・エコプロダクト展(東京)視察		
報告書作成					・本委員に原稿依頼	・本委員の原稿取りまとめ	・報告書概要取りまとめ印刷発注	・報告書印刷(中旬までに納品) ・報告書配布し普及事業	
事務局準備作業	・交付申請書提出(7/7日) ・委員会準備 ・実施要領など書類作成	・調査票発送及び回収 ・視察調査先との折衝 ・交換会準備	・展示会視察準備 ・委員会準備 ・実地調査の準備	・集計委託先の選定及び契約 ・補助事業遂行状況報告	・調査報告書の記録整備 ・委員会準備	・会議議事録の記録整備 ・委員会準備	・事業実施経過及び会計処理など事業実施経過をチェック	・2月末日までに報告書及び事業実績書類等を全中へ提出	

割合、現在の処理方法、処理費用、処理の実績と見通し。処理方法の項目では、廃棄物処理や再資源化についての考え方、工業組合が提唱す

る分別回収と再資源化の是非など、アンケートを通じて組合員の率直な意見を聞き、システム作りの基礎資料にしていく方針である。

新規特別事業・社会要請対応円滑化支援事業

「産廃の樹脂別分別回収と再資源化を図るシステム」づくり

工業組合が事業に取り組む理由と期待される効果

《テーマを選定した理由》

平成12年度から容器包装リサイクル法が全面施行され、来年度から家電リサイクル法が本格施行された。さらに国は、廃棄物処理法、再生資源利用促進法の改正、循環型社会基本法案など相次いで環境関連法案を制定したところである。

一方、岐阜県は全国で初めて廃棄物の適正処理に関する条例を全面施行し、リサイクルの徹底や自己完結を折り込んだ廃棄物対策5原則を打ち出し、地球環境村構想の実現をめざしている。

プラスチック成形加工業界は、こうした社会的背景のもと、環境対策なくして経営は成り立たなくなった。とくに成形工場が排出する産業廃棄物は、企業ぐるみ、業界ぐるみで適切な管理とリサイクルによって削減、また、環境汚染化学物質の使用を見直し、代替物質への転換、削減、適切管理に努める必要に迫られている。

工業組合では平成10年度いらい、プラスチック廃棄物処理と再資源化問題検討委員会を組織し、産廃問題の解決に取り組んできた。社会要請対応円滑化支援事業ではこれまでの調査と検討をもとに、産廃の樹脂別分別回収と再資源化を図るシステムづくりに取り組むものである。

《期待される効果》

岐阜県のプラスチック成形加工業界は大半が中小規模の下請け加工業者で、人材と資金に余力がなく、年々高騰する産廃処理費用は経営を大きく圧迫している。

この支援事業を機会に、企業ぐるみで廃棄物の削減や適切管理に取り組み、業界ぐるみで「樹脂別分別回収と再資源化を図るシステム」を実現・運用することができれば、原材料の使用削減や産廃処理費用の削減が図れ、経営改善はもとより環境改善、業界イメージアップに大きく貢献することになる。

特別講習会に続いて技能検定を実施

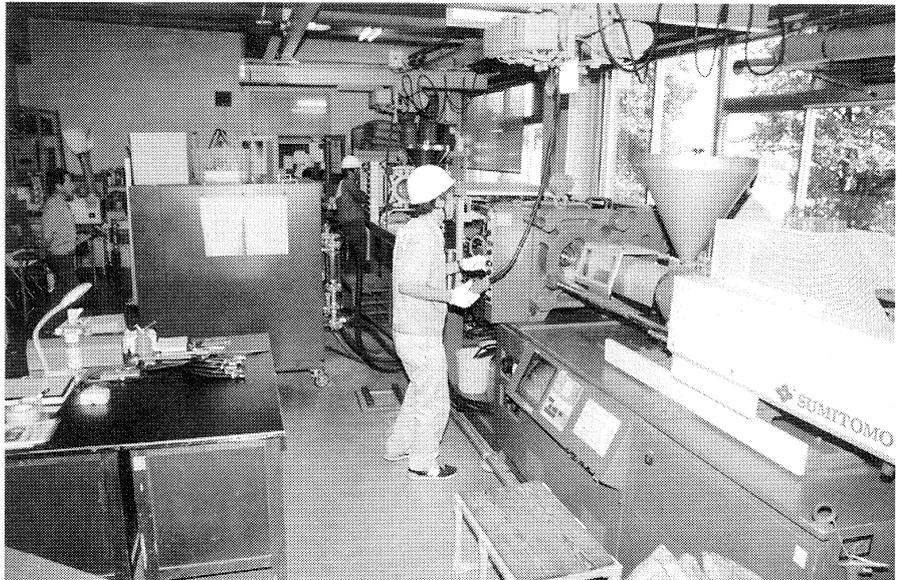
1 級受検者数は過去最高に ハイテク時代、受検資格者の増加で

工業組合は能力開発協会から『プラスチック射出成形技能検定』を受託、実施しているが、今年度は6月12日から3日間『特別講習会』を開催し、続いて6月19日から7月10日にかけての16日間、実技の『技能検定試験』を行なった。

会場は例年と同じ岐阜県製品技術研究所（旧・岐阜県工業技術センター）の3階講堂と成形機のある1階高分子加工実験場で、ハイテク時代にふさわしい検定事業を展開した。

今年は1級19人
2級45人が受検

今年度のプラスチック射出成形の受検者数は、1級19人、2級45人の合計64人。昨年度の実績を上回り、平成7年度、平成6年度に続く、過去3番目の大量受検。とくに1級の受検資格者（資格は2級合格後5年を経過した人、12年以上の実務



経験を持つ人）が増加していることから1級の受検者数は過去最高を記録した。

1級の受検者は過去最高だった射出成形の技能検定実技試験

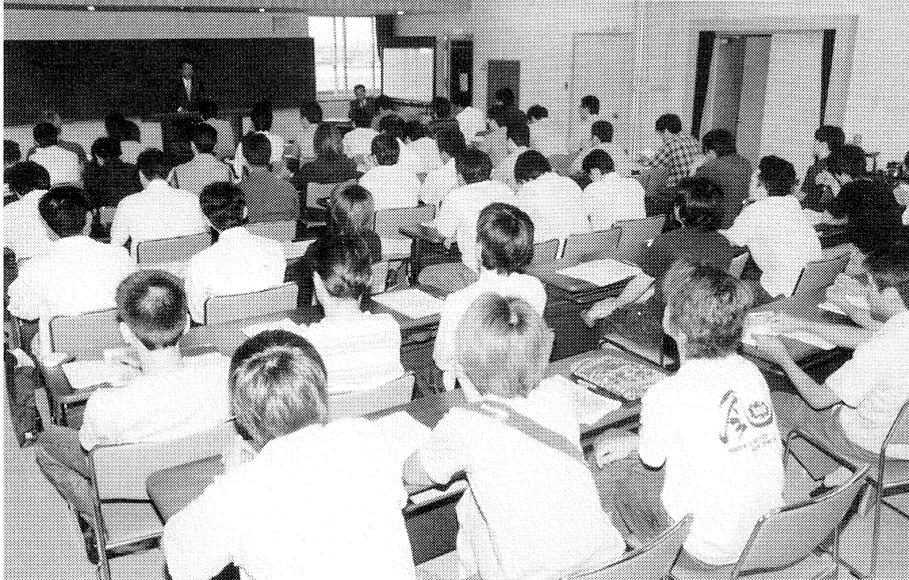
は他産業に比べて、まだまだポテンシャルの高い産業といえる。これを支えるには、新技術・新開発により新たな事業展開が何よりも大切である。どうか検定に全員が合格する構えで取り組み、企業にかえって役割を果たしてもらいたい」と激励した。

また、同席した平光武岐阜県製品技術研究所長は「工業技術センターは、製品技術研究所と名称を変え、ものづくりに邁進している。今日の県内産業の多くは、国際的な競争の場におかれ、難しい局面を迎えている。年間の製造出荷額3000億円を超えるプラスチック加工業界とい

「技術と開発力を磨け」

大松理事長が受検者を励ます

技能検定に先立った講習会は、6月12日から3日間実施したが、開講にあたって大松理事長が「企業間の価格競争は、もはや世界共通の課題になり、その影響を受けてわが国でも苦況に立たされている業界、メーカーは多い。それを食い止めるには、技術開発力を養い、コストの改善を図るより方法がない。プラスチック産業



基本からみっちり勉強し、レベルアップを図った特別講習会

えども、安閑としておれない。立ちはだかる障害、コスト競争、技術革新、さらにはコンピュータ・ソフトの発達による自動化と技術力のせめぎ合いが、もっともっと厳しく襲ってくるであろう。この波に 대응できるよう、研究所をフルに活用し、技術レベルを一層高めてほしい」と研究施設の活用を呼びかけた。

目立つ時間オーバーでの作業中止

講習会は井藤正司首席検定委員の“技能検定の受検対策とその傾向”で始まった。井藤首席検定委員は「今年度の検定は、1級で試験時間が4時間から3時間40分に短縮された。2級では材料の返却が認められなくなった」とまず、注意点をのべた後「この技能検定は昭和49年度から行い、資格を得た県下の技能者は特級4人、1級43人、2級324人にのぼり、近年の合格率は全国平均より高めに進んでいる」また「最近の実技試験の傾向として、機械操作の不慣れによるトラブルや、時間オーバーによる作業中止が目立っている。このため受検者は6つの班に分かれて、クレーン操作を含む射出成形機の取り扱い説明と実習に重点を置くことにした」と

技能検定の実情と受検対策を説明した。

講習会の第1日は①技能検定の受検対策とその傾向②成形材料とその射出成形条件③成形不良対策④射出成形機の取り扱い⑤学科の模擬試験⑥受検日時と使用機種（日精と住友2機種）の公開抽選を行なった。

第2日は①成形機の取り扱い②学科の模擬試験結果と対策③クレーン講習を含む射出成形機の取り扱い実習で、第3日は、終日クレーンを含む射出成形機の取り扱い実習を行なった。

学科の模擬試験はまずまずの成績

模擬試験の結果は、最高得点が100点満点で90点、最低得点は38点、平均点は71.5点の成績だった。1級受検者の成績は全体に良かったものの2級受検者は一層の努力が必要とされる。

実技の検定試験は、2級が6月19日から7月4日までのウイークデー12日間、1級は7月4日から7月10日までの5日間で、いずれも午前午後に分かれて4人ずつ行なった。

実技試験の方法は、2級は3時間内にスチロール、ABS、ポリエチレンの3樹脂を使用して箱状の成形品を製作した。1級は3時間40分以内に、スチロール、ポリカーボネート、ポリエチレンの3樹脂を使用、課題の成形品を成形した後「成形収縮率計算票」と「材料歩留まり率計算票」を作成した。

なお、学科試験は8月27日（日）合格者の発表は10月6日（金）の県公報に掲載される。

— J R 岐阜駅にワールドデザインシティが誕生 —

高架下に県が民間企業の技術力・経営ノウハウを活用して開発

J R 岐阜駅の高架下空間を利用した複合商業施設「ワールドデザインシティ・G I F U (愛称・アクティブG)」が7月7日オープン、多彩なイベントも行われ、話題になっている。

この商業施設は、岐阜駅業務施設から西側の約3万平方メートル。岐阜県が開発を担当してきたエリアであるが、結果的には東京の森ビル都市企画が運営主体と

なる公設民営方式で、整備が進められてきた。建物は高架下の三層構造で、1、2階が温泉を利用した複合型健康施設、2階はメイドイン岐阜の楽市楽座とファッション卸売りマート、3階は匠工房となり、施設関係者は「おしゃれ・健康・楽市楽座を開発コンセプトにした新しい岐阜の顔にしていきたい」と話している。

匠工房には地場産業関連工房と海外8カ国から招いた海外工房が中心となり国際色豊に「創り」「売り」さらに「デザイン情報の発信」を行っている。また、匠アカデミーは、イタリアのドムスアカデミー、イギリスのR C A、アメ



高架下にオープンした公設民営の複合商業施設

リカのI D N Fといった世界最高水準のデザイナーやアーティスト養成機関との交流拠点にもなっている。

楽市楽座にある18の飲食物販売店は、店舗のレイアウトから販売商品のすべてを県産品で賄っており、メイドイン岐阜を体験できる。1、2階中央部分にあるフライツァイトは、健康とリラクゼーションをテーマにした会員制の温泉とプールとスポーツ施設をもつ。2階北側のレップマートは、ヤング・レディースを中心にした136のアパレル・ファッション業者が入居する卸売りマートで、8月22日に開店する。

廃プラ総排出量3.7%増える

社団法人プラスチック処理促進協会がまとめたプラスチック製品・廃棄物・再資源化フロー図によると、98年の樹脂生産量1391万トン（前年は1521万トン）に対し廃プラ総排出量は984万トン（前年949万トン）で、廃プラ総排出量は3.7%上回った。

このうち一般廃棄物系は499万トン（前年は478万トン）、産業廃棄物系は485万トン（前年471万トン）であった。有効利用率の上昇は再生利用、固形燃料、油化・高炉原料、発電付き焼却の数量増加に支えられた。

樹脂別ではポリエチレンが最も多く30.2%、ポリプロピレン19.9%、ポリスチレン17.1%、塩ビ13.0%がめだっている。

企業戦略の道標として欠かせぬ“特許情報”

特許、実用新案、意匠登録、商標登録

特許庁と社団法人発明協会は「特許、実用新案、意匠登録、商標登録など特許制度を有効に活用してほしい」と呼びかけている。

多くの費用と時間、それに大変な労力を費やして完成した研究開発成果である発明考案や創造的デザインは、特許、実用新案または意匠権として保護したうえ、有効活用を図っていくことが重要である。また、商品やサービスに表示する商標は、厳しい品質管理や宣伝活動によって培ってきた信用を、マークで認識してもらうための貴重な財産権で、厳重な商標管理が必要といえる。

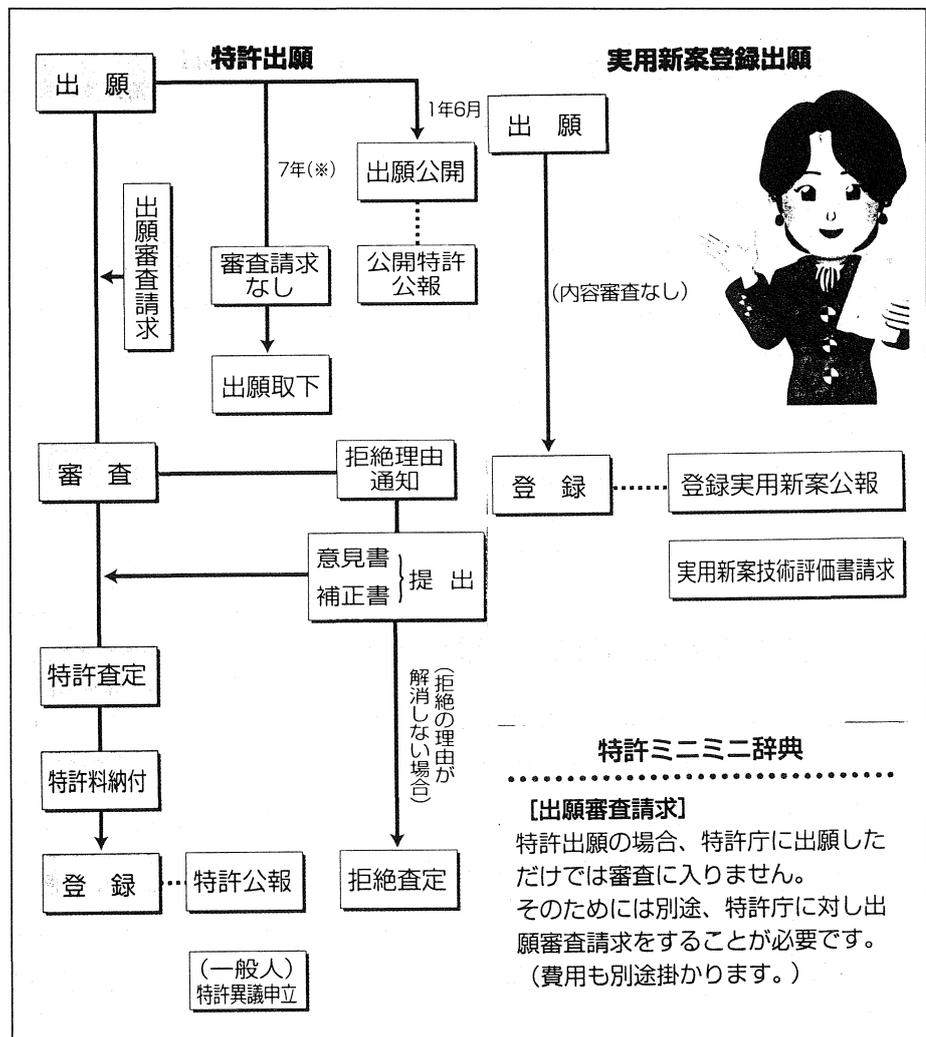
かりか、製品販売後であれば他社の特許侵害として重大な問題に発展しかねない。

権利を確実にするには先行調査を

発明考案の全てを無条件に出願すれば良いわけではない。その内容や性格、費用と効果のバランス、さらに出願した場合の権利となる可能性によってその処理は変わってくる。出願するにしても、特許、実用新案あるいは意匠として出願するか、よく検討することも必要。審査や権利設定にいたる過程で、どのような手続きが

出願に先立って 先行技術調査を

平成11年出願件数は特許が40万5,655件、実用新案登録1万283件、意匠登録3万7,368件、商標登録12万1,861件にのぼっている。こうした特許出願により公開された情報は、新たな開発のための貴重な知的資源となる。すでに他社で完成されていることを知らずに、重複して研究開発に汗を流すことは、企業にとって極めて大きな損失となる。しかも、研究開発経費が無駄になるば



必要かも理解しておくことが重要である。

技術を権利として確実なものにするには、すでに同じ内容のものが出願されていないかどうかの先行技術調査が必要である。しかし、膨大な特許情報の中から、先行技術の有無を調査することは大変、とくに実用新案は無審査のためその必要性はなおさらである。このため実用新案の場合、独占的な権利を主張するには、特許庁から「技術評価書」を得ることが必要である。

パソコンで特許や実用新案を出願

発明協会（岐阜県支部は各務原市のテクノプラザ内）では、中小企業や個人の技術開発についての先行技術調査を実施している。

現在、オフィスのパソコンから特許庁に対し

特許や実用新案などの書類をオンラインで出願することができる。

発明協会では、特許庁とISDN回線をつなぎ、自由に利用できる共同利用の電子出願用パソコンを設置するなど、電子出願支援事業を行っている。

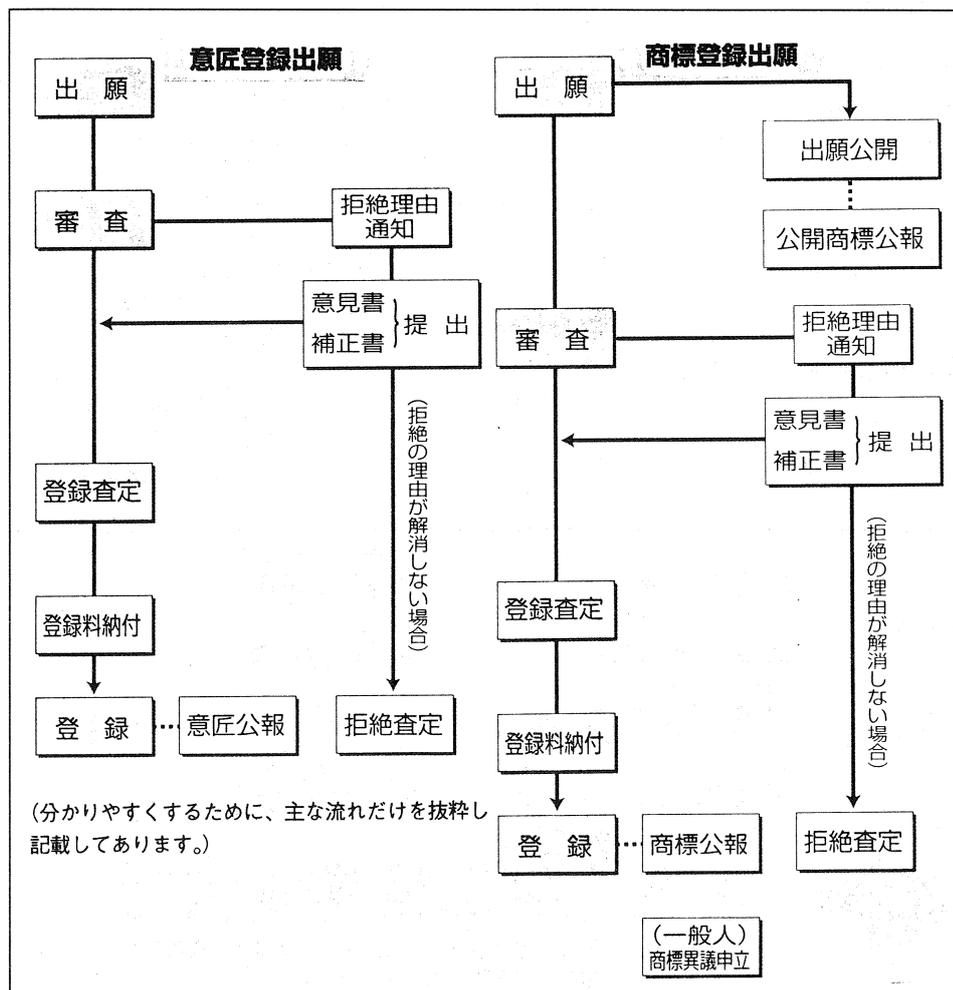
意匠や商標の出願もパソコンで

優れたデザインは、商品に対する消費者の購買意欲を高める。性能や品質が同等の商品ではデザインの善し悪しが商品の売れ行きを左右するといっても過言ではない。平成11年1月に改正意匠法が施行され、平成12年1月からは意匠や商標の出願についても、パソコンを利用したオンライン出願ができるようになった。オリジナルに優れたデザインを権利として保護することは大切である。

とは大切である。

意匠法の改正点は①物品の部分も保護対象となった②創作容易性の水準が引上げられ「公知意匠」から容易に創作できる意匠も拒絶、無効の対象となった③類似意匠制度を廃止、同人、同日の出願に限り類似する複数の意匠を「関連意匠」として登録される。

商標法の改正点では①出願の時、商標を使う商品（サービス）を指定する方法が変わった②登録料（登録期間10年）



事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□工場廃棄物の調査に協力してください□

トップ記事で紹介しましたように新規特別事業として「社会要請対応円滑化支援事業」に取り組みを開始しました。事業は組合ぐるみで資源を有効利用する「資源循環型産業」の実現をめざす調査研究事業です。別便でお届けしますアンケート調査「工場廃棄物の処理と再資源化実態調査」はその基礎資料になるものです。調査へのご協力をお願いします。

□発明くふう展開催で出品作品を募集中□

岐阜県、岐阜市、発明協会県支部は「岐阜県発明くふう展」の展示作品を募集しています。10月27日（金）から30日（月）まで、岐阜市正木のマーサ21で開催予定の発明くふう展の展示作品にするため、一般、女性、児童、生徒、教員というように部門ごとに募集、優秀作品には各賞が贈られます。

詳細は各務原市須衛町・テクノプラザにある発明協会県支部（TEL0583-70-8851、FAX0583-79-0508）まで問い合せてください。

□中小企業大学校瀬戸校の新研修テーマ□

愛知県瀬戸市川平町にある中小企業大学校瀬戸校では、経営者、後継者、管理者を対象に

00-18	経営5日間	これからの品質保証と品質管理	10/ 2(月)～ 6(金)
00-19	経営4日間	キャッシュフロー経営のすすめ方	10/10(火)～13(金)
00-20	経営3日間	中小企業の活路開拓セミナー	11/ 7(火)～ 9(木)
00-21	経営5日間	財務分析と実践的資金繰り	11/13(月)～17(金)
00-22	経営3日間	職場活性化とリーダーの役割	11/20(月)～22(水)
00-23	技術5日間	実践的生産管理のすすめ方	12/ 4(月)～ 8(金)
00-24	経営2日間	経営者の教養講座 2	1/20(土)～21(日)
00-25	技術5日間	生産性向上のための生産システム改善	1/22(月)～26(金)
00-26	経営5日間	若手幹部の経営能力開発	2/ 5(月)～ 9(金)
00-27	経営3日間	お客の心をつかむ繁盛店の秘訣	2/14(水)～16(金)
00-28	経営5日間	生産期間短縮と工程改善	2/19(月)～23(金)
00-29	経営4日間	ニッチ・マーケティングと新商品開発	2/27(火)～3/2(金)
00-30	経営5日間	T P Mの実践的活動と展開	3/12(月)～16(金)

種々の研修事業を実施しています。10月からの研修テーマは上の表のとおりで、詳細は瀬戸校（TEL0561-48-3400、FAX0561-48-2224）まで。

□事務局の休暇についてお知らせします□

工業組合の事務局は、8月14日（月）から16日（水）までの3日間、夏期休暇に入ります。事務局へのご連絡はお早めをお願いします。

岐阜県のプラスチック 2000年 第154号

平成12年7月31日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 高坂 貞夫

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

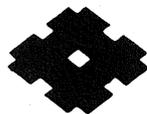
合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

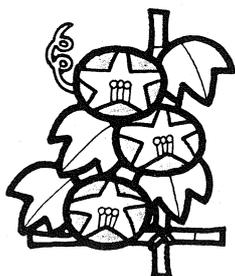
名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

暑中お見舞い申し上げます

2000年盛夏



岐阜県プラスチック工業組合

役員一同

リスのプラスチック 岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松 利幸

本社 岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
〒500-8833 ☎(058) 265-2233(代)

生産本部 各務原市前渡東町4丁目222番地
〒504-0922 ☎(0583) 86-9311(代)



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 俊一

本社 岐阜県安八郡神戸町末守377の1
電話(0584)27-4141

支店 東京、大阪
営業所 本社、横井、福岡、仙台
工場 本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム



株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中 〒501-6004

TEL (058) 246-1313 番(代)

FAX (058) 247-2411 番

名古屋営業所 名古屋市西區城西5丁目5番4号 〒452-0841

TEL (052) 521-9296 番(代)

FAX (052) 532-1664 番

浜松事務所 浜松市入野町6056 〒432-8061

TEL (053) 447-2511 番(代)

FAX (053) 447-4248 番



業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作

大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役社長 日比 勝次

本社 岐阜県大垣市大島町2丁目394番地

TEL (0584) 81-1347(代)

営業所 名古屋市西區城西3-15-33

TEL (052) 932-3945(代)

アテカ工業株式会社

代表取締役社長 下野 利昭

■本社・工場 岐阜県関市下有知5601番地の1

TEL (0575) 24-2424 (代表)

〒501-3217 FAX (0575) 24-0567

ナイロン・ポリエステル・PP

樹脂・再生加工製造

高安株式会社 協力工場



加茂企業株式会社

代表取締役社長 万江 文雄

〒505-0016 美濃加茂市牧野1878

TEL (0574) 26-1335

FAX (0574) 25-8073

岐阜技研ポリマー
株式会社

代表取締役 篠田 哲

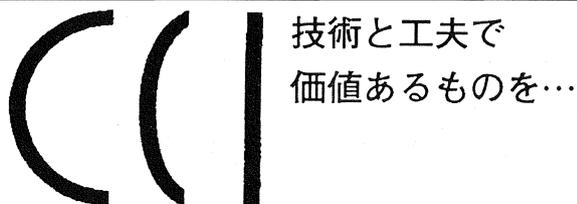
岐阜市岩地3-7-15
TEL <058> 246-2541
FAX <058> 246-2081

岐阜産研工業(株)

代表取締役 林 貢一郎

樹脂事業部 射出成型
ギフト事業部 ギフト商品卸販売

本社・工場
〒501-0555 岐阜県揖斐郡大野町
大字公郷六ノ坪1403番地
TEL (0585) 35-2511
FAX (0585) 35-2327



技術と工夫で
価値あるものを...

シーシーアイ株式会社

代表取締役社長 岡部 修二

岐阜県関市新迫間12
TEL(0575)24-4111 FAX(0575)24-4199

(有) 清水樹脂

代表取締役 清水 昭市

美濃市乙狩10-2
TEL 0575-37-2114
FAX 0575-37-2586

バス・航空機・車輻・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器

 天龍工業株式会社

代表取締役社長 福西 紀雄

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1番地
TEL <0583> 82-4111(代)



株式会社 ニッセキ

代表取締役 石原 良美

本社・工場
〒503-0641 海津郡海津町内記194
TEL(0584)53-0238
FAX(0584)53-0359


Hachiman-kasei co.,ltd. plastic products

八幡化成株式会社 way-be®

代表取締役 高垣 美代子

〒501-4204 岐阜県郡上郡八幡町旭182番地
TEL(0575)67-1175(代) FAX(0575)65-5150

各種プラスチックシート真空成型加工

 パール化成製品株式会社
PEARL CHEMICAL PRODUCTS CO.,LTD.

代表取締役 杉山 元彦

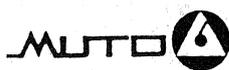
本社工場 〒501-0473 岐阜県本巣郡真正町温井243-3
TEL (0583)24-9155(代) FAX (0583)24-6221
管理本部 〒500-8256 岐阜市八坂町40番地の1
岐阜工場 TEL (058)271-0861(代) FAX (058)275-0970



株式会社 **武藤化成工業所**

代表取締役 **武藤 幸平**

岐阜県武儀郡武芸川町跡部井口781 〒501-2605
TEL <0575> 46-3711 FAX <0575> 46-2285



ムトー精工株式会社

代表取締役 **山口 功**

本社工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-60-1
TEL (0583) 71-1100 (代) FAX (0583) 82-4365
岐阜工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-93
TEL (0583) 83-8311 (代) FAX (0583) 83-1516
筑波工場 〒300-0315 茨城県稲敷郡阿見町香澄の里13-2
TEL (0298) 89-0800 (代) FAX (0298) 89-0805



プラスチック原料販売
再生材料・着色・委託加工

有限会社 **久世樹脂工材**

代表取締役 **久世 幸博**

〒503-0008 大垣市楽田町3丁目29番地
TEL (0584) 81-6138 (代)
81-5785 夜間
FAX (0584) 81-2260



各種プラスチック製品製造加工
株式会社

東海化成工業所

代表取締役 **宇野 隆**

岐阜県山県郡高富町大桑4370
TEL (0581) 27-2111
FAX (0581) 27-2915

創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有数の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック**
NOVATEC

NOVAは「新星」。
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・最良の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック (NOVATEC)」をお届けします。

高密度ポリエチレン——— **ノバテックHD**
低密度ポリエチレン——— **ノバテックLD**
直鎖状低密度ポリエチレン——— **ノバテックLL**
直鎖状低密度ポリエチレン——— **ノバテックC6**
エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂——— **ノバテックEVA**
ポリプロピレン——— **ノバテックPP**

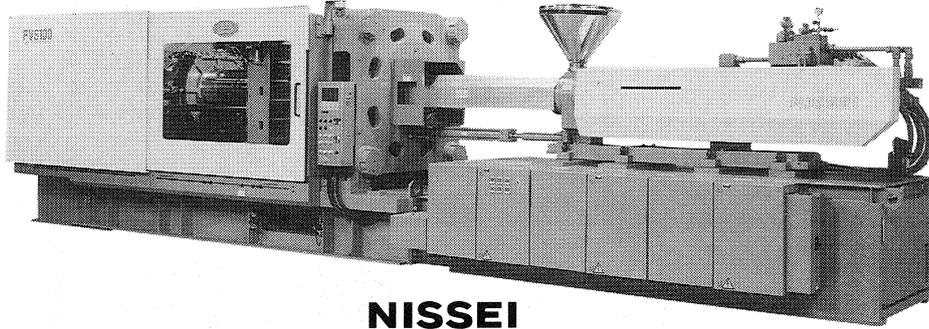
NOVA 日本ポリケム株式会社 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 〒100
TEL 03-3267-8010 FAX 03-3267-8040

時代を創る 時代に答える

私たちNISSEIは、射出成形機の専門メーカーとして、プラスチック成形技術の開発に努めてきました。
成形機を中心に金型・生産システムなど、技術の幅を広げ、国内トップメーカーとして業界をリードしています。
プラスチックの活用はますます裾野を広げる中、プラスチック応用技術を通して、活力ある産業社会、心豊かな生活文化の創造に貢献しています。
「人と暮らしに役立つ、新しいモノづくり」これが私たちの恒久のテーマです。

新たな発想で生まれた高性能・低価格大型機

FVシリーズ (FV9000, 9100, 9200, 9400)



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所／愛知県小牧市外堀2-167 ☎ (0568) 75-9555(代)

■岡崎出張所／愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎ (0564) 52-1430 ■三重出張所／三重県津市神戸横田203-4 ☎ (059) 224-0716

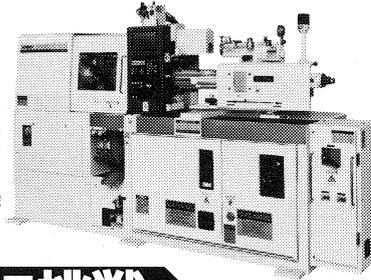
■本社・工場・研究開発センター／長野県坂城町南条2110 ☎ (0268) 82-3000(大代表)

■東京事務所 ■テクニカルセンター／本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪 ■営業所/全国11カ所 / 出張所/全国19カ所 ■海外サービスステーション / 28カ所

● <http://www.nisseijushi.co.jp>

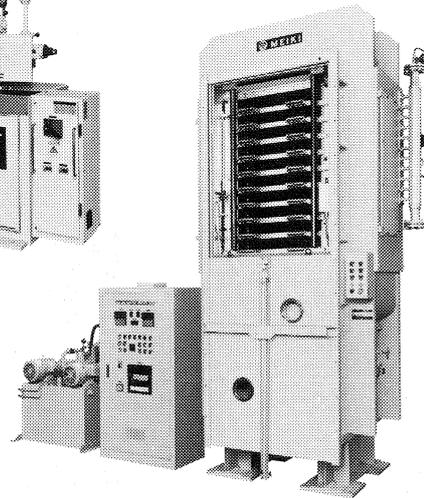
MEIKI

DVD専用機

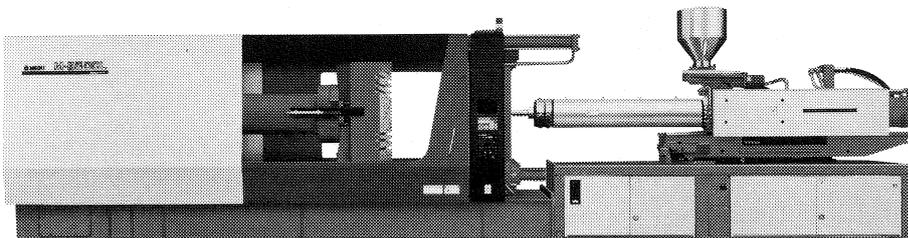


ハイテクノロジーに挑戦

プラスチック、光ディスク (DVD) 射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機

 株式会社 名機製作所

本社・工場 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎ <0562>48-2111(代)
中部支店 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎ <0562>47-2391(代)
岐阜出張所 〒501-61 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎ <058>247-2674

化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

三菱化学

▲三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100(三菱ビルディング) Telephone:03-3283-6274(ダイヤルイン)

ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

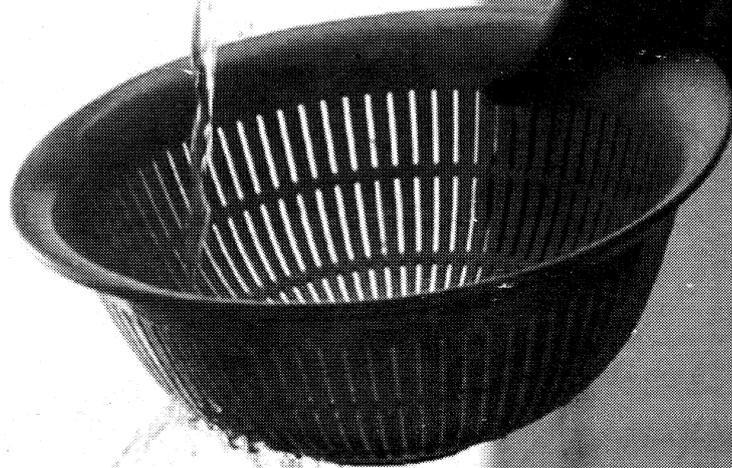
信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)581-0651

くらしのこだわり…

**HOME &
HOME**

-RISU BASIC-

リス
CROISSANT®



より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア 3つのPoint

ポイント
2

洗い易いかたち

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい
特殊加工の素材を使用しています

ポイント
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目25番地
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社
●リス株式会社
●リス興業株式会社